

資料・2003年度鹿児島大学公開講座一覧

講 座 名	島尾敏雄の文学		
開 催 場 所	名瀬市役所会議室		
開 催 期 間	2003.05.26-05.30	時 間 数	15時間
受 講 対 象 者	市民一般	募 集 人 数	25人
講 座 の 主 旨 ・ 目 的	島尾敏雄は、戦後文学を代表する1人である。その特徴は、加計呂麻島の特攻経験、名瀬での図書館長としての文化活動、鹿児島市での教職経験等を素材として小説を書いたことにある。そのような島尾敏雄の文学の秘密を検討する。		
主 催	鹿児島大学大学院人文社会科学研究科		
自 治 体 と の 連 携			
担 当 者	石田忠彦		

講 座 名	異文化と伝統の交錯：アジアとヨーロッパ		
開 催 場 所	学内		
開 催 期 間	2003.05.31-07.19	時 間 数	25時間
受 講 対 象 者	市民一般	募 集 人 数	60人
講 座 の 主 旨 ・ 目 的	現代アジアの政治、文化、経済は近代におけるヨーロッパとの出会いに始まる。中世までは基本的にアジアとヨーロッパとは別々の世界であった。が、近代に入ってヨーロッパがアジアに進出してきた時点から近・現代アジアの葛藤が始まる。進入してきたヨーロッパの世界観、価値観にアジアはどのように対処してきたのか。対立するのか友好関係を樹立するのか、そのジレンマが近・現代アジアの姿である。日本の場合、幕末時外国の圧力に苦慮する幕府、開国により刻下の急務となった外国語習得といった事件に伝統と外来要素との相克を見る。又、アジアの伝統的な文化、人間関係の現代における姿を東南アジア、中国に見る。逆に、未知の要素が、例えば、陶磁器、珈琲がヨーロッパにもたらされたとき、どのような反応を示したのか。新世界の産物・文化がヨーロッパに与えた影響をイギリス、フランスの伝統文化との相関関係という視点から考慮する。アジアとヨーロッパそれぞれ独特の文化・伝統を読み直すとともに、両者のせめぎあいの中に、アジアとヨーロッパそれぞれに見られる異文化の需要と伝統の継承の相関関係から文化とは何か、伝統とは何かを考える。		
主 催	鹿児島大学法文学部法制策学科		
自 治 体 と の 連 携			
担 当 者	三輪伸春、原口 泉、桑原季雄、渡辺芳郎、大田由紀夫、梁川英俊、大和高行		

講座名	理学療法士・作業療法士のための統計処理		
開催場所	学内		
開催期間	2003.06.07-06.21	時間数	6時間
受講対象者	理学療法士・作業療法士	募集人数	20人
講座の主旨・目的	<p>理学療法士や作業療法の研究における判断は統計学的に行われることが常識となり、パソコンの普及によりデータの統計学的処理は簡単になった。しかし、統計処理の内容はブラックボックスの中となり、意味も分からずに行われている場合がある。</p> <p>本講座は、理学療法士・作業療法士を対象とし、臨床研究における統計学的分析方法について解説し、受講者自身がデータを実際に解析することで、基本的な統計手法を実用的に使用可能となることを目的とする。</p>		
主催	鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻・基礎理学療法学講座		
自治体との連携			
担当者	前田哲男、大渡昭彦、木山良二		

講座名	離島における自治体財政の将来		
開催場所	名瀬市役所会議室		
開催期間	2003.06.30-07.04	時間数	15時間
受講対象者	市民一般	募集人数	25人
講座の主旨・目的	<p>日本の自治体財政は、市町村合併の推進によって、大きな転換期を迎えようとしている。市町村合併の推進は、長年の不況によって国の財政状況が悪化し、自治体にも効率的な財政運営を求めざるを得なくなったのが大きな背景となっている。</p> <p>しかし、地域的諸環境が大きく異なる離島に対しても、効率的な財政運営を画一的に要求してよいのだろうか。この問題に関する一定の方向を見いだすのが本講義の主要な目的である。</p>		
主催	鹿児島大学大学院人文社会科学部研究科		
自治体との連携			
担当者	朴源		

講座名	地域づくりと学校教育の役割		
開催場所	和泊町中央公民館		
開催期間	2003.07.19-07.20	時間数	10時間
受講対象者	現職教員及び地域リーダー	募集人数	30人
講座の主旨・目的	<p>地域づくりと学校教育の連携について総合的に学び合い、参加者の教師としての力量形成と地域リーダーの学校との連携に資する内容である。大学における地域学校教育の調査や食農教育等の研究成果を離島の学校の教職研修の一つとして還元し、また、現職教員や地域リーダーとの交流を通して大学における教師養成教育の内容や方法をより豊かにしていくことを目的として実施する予定である。</p>		
主催	和泊町教育委員会・知名町教育委員会		
自治体との連携	広報活動にあたって、和泊町教育委員会・知名町教育委員会に協力を要請する。		
担当者	神田嘉延、小柳正司、狩野浩二、前田晶子		

講 座 名	コンピュータと教育		
開 催 場 所	教育学部附属教育実践総合センター		
開 催 期 間	2003.07.23-2003.07.25	時 間 数	18時間
受 講 対 象 者	教育関係者	募 集 人 数	19人
講 座 の 主 旨 ・ 目 的	<p>コンピュータは社会の情報化に伴って様々な分野で利用されており、学校教育においても既に活用されてきている。また高等学校の教科「情報科」の新設や小中学校の学習指導要領の改訂に伴い、情報機器を適切に活用し、学習内容の充実を図ることが、必要とされる。このような状況のもとで、学校の教師をはじめ教育関係者と共に、コンピュータやインターネットの適切な利用方法についても検討することは、緊急かつ重要な課題となっている。</p> <p>鹿児島大学教育学部では、既に昭和61年度から標記のようなテーマで公開講座を開設しているが、このような状況に対応して平成15年度も本講座を実施することにした。</p> <p>本講座は教育関係者を対象に開講している。本年度は特に学校や社会教育での実践に即したコンピュータ利用やインターネットの教育利用などを中心に行う。その内容としては、ワープロソフトや表計算ソフトを関連付けた文書作成や、プレゼンテーションソフトを利用した授業展開の仕方、アニメーションを使ったホームページ作成、コンピュータやインターネットの教育利用等を学ぶものである。</p>		
主 催	鹿児島大学教育学部		
自 治 体 と の 連 携			
担 当 者	園屋高志、三仲啓、大坪治彦、小江和樹		

講 座 名	歯周治療への Interdisciplinary Approach		
開 催 場 所	鹿児島県歯科医師会館		
開 催 期 間	2003.07.27	時 間 数	4時間
受 講 対 象 者	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、 歯科医療関係者	募 集 人 数	30人
講 座 の 主 旨 ・ 目 的	<p>歯周治療は、口腔衛生指導、歯石除去、歯周外科手術などの処置を効果的に行うことによる歯周炎の進行抑制と健康な歯周組織の回復を目標とする。高度に進行した歯周炎患者ではこの目標を達成するために、歯列の機能的な再建と保全を長期的な展望に立って考慮することが重要となる。これには矯正治療や補綴処置などの多分野からのアプローチが必要である。また、薬理学的な観点からの考察、そして歯科衛生士の積極的な治療への参加も欠かせない。今回の公開講座では、歯周治療を成功に導くために様々な観点から多角的な考察を行うことを目的とし、各分野の専門家から問題提示および臨床上の注意点について解説が行われる。</p>		
主 催	鹿児島大学歯学部（鹿児島県歯科医師会）		
自 治 体 と の 連 携			
担 当 者	和泉雄一、西川殷維、伊藤学而、田中卓男、古市保志、下田平貴子		

講座名	高齢者介護の経済学と日独米の介護政策		
開催場所	名瀬市役所会議室		
開催期間	2003.07.28-08.01	時間数	15時間
受講対象者	市民一般	募集人数	25人
講座の主旨・目的	<p>・介護保険制度が見直されて、在宅介護をより優先する料金構造になった。けれども、仕組みが根本的に見直されたわけではない。「生活の質」を優先させつつも、高価な社会保険にしない仕組みづくりを考える。</p> <p>・他国の例をも比較しながら、より望ましい介護政策に向けた実践的な課題を受講生と一緒に考える。</p>		
主催	鹿児島大学大学院人文社会科学部		
自治体との連携			
担当者	山田誠		

講座名	次世代農業への道		
開催場所	学内		
開催期間	2003.08.01-09.29	時間数	15時間
受講対象者	一般市民	募集人数	50人
講座の主旨・目的	<p>20世紀型の近代化農業が高齢・少子化社会、国際化、地球環境問題などを前に行き詰まりをみせ、農業・農村のパラダイム転換が求められている。旧体制を支えた政府、JA、大学も新しい農業像を提示することが出来ず、制度疲労は極限にきている。次世代農業が有機農業を核とする資源循環型農業の方向にあると漠然とは構想されているが、科学的・社会的に十分裏付けるまでにはいたっていない。しかし鹿児島大学では「大地・食・人間の健康を保全する環境革命への試行」を実施し、その方向を模索してきた。本講座ではNPO法人鹿児島県有機農業協会の協力を得て、「次世代農業」への道を切り開き、新しい農業・農村・農学の像を描こうとするものである。</p>		
主催	鹿児島大学農学部（共催：NPO法人鹿児島県有機農業協会）		
自治体との連携			
担当者	岩元泉、大西緝、中西良孝、秋山邦裕、富永茂人、前田芳実、李哉滋、遠城道雄、萬田正治、中野敦夫、八幡正則、久木田敬一、山元正明、大和田世志人、前園寛		

講座名	ストーマ造設者のQOL向上への援助		
開催場所	学内		
開催期間	2003.08.02	時間数	6.5時間
受講対象者	保健師、助産師、看護師、准看護師	募集人数	50人
講座の主旨・目的	<p>近年、食生活の欧米化やストレスの増大、高齢化等により疾患が多様化し、消化管や尿路の障害により、ストーマ造設を余儀なくされる人が増加している。これらの人々の精神的苦痛を癒し、ストーマのセルフケアができるように支えるには、より専門的な知識と技術を必要とする。</p> <p>本講座では、看護関係者を対象にし、ストーマ造設者のQOL向上への支援のあり方を講義すると共にストーマケアの基本について演習指導を行う。</p>		
主催	鹿児島大学医学部保健学科		
自治体との連携			
担当者	石澤隆、中野栄子、奥祥子、中俣直美、日浦瑞枝、中馬豊、川原幸江、高崎靖子、前田操、国師由香利、浦辺尋美		

講 座 名	市民生活と課税 -くらしの税情報-		
開 催 場 所	学内		
開 催 期 間	2003.08.02-09.20	時 間 数	14時間
受 講 対 象 者	市民一般	募 集 人 数	50人
講座の主旨・目的	編者別府三郎監修、迫 貞義の著作『税と市民生活とのかけ橋』（共研書房）の改訂作業を市民一般に公開する。可能な限り市民法（主として民法、商法体系）の関連項目を導入して、市民生活と課税との関係を「くらしの税情報」として提供する。主として、国税庁『暮らしの税情報』を解説する。		
主 催	鹿兒島大学法文学部法政策学科		
自治体との連携			
担 当 者	別府三郎、志田惚一、迫貞義、平川力、大瀬正行、酒匂健寿、貫見昌良		

講 座 名	Active Aging -リハビリテーションからケアまで- (牧園町)		
開 催 場 所	霧島リハビリテーションセンター		
開 催 期 間	2003.08.03	時 間 数	6時間
受 講 対 象 者	医師、看護師、保健師、理学・作業療法士、ヘルパー、市民一般	募 集 人 数	80人
講座の主旨・目的	高齢化社会の到来により、脳卒中、老人痴呆、骨関節疾患などの障害を持ちながら、自宅や施設で生活する老人は増加の一途をたどっている。しかし、施設職員や家庭内介護者に対して、このような障害老人の対応についての知識・技術が十分に普及しているとは言い難いのが現状である。今回の公開講座は、老人の看護とリハビリテーションに関する基本的な知識や技術をわかりやすく解説し、実技指導するものであり、これからの知識社会にとっても有益なことと思われる。		
主 催	鹿兒島大学医学部リハビリテーション医学講座		
自治体との連携			
担 当 者	田中信行、川平和美、吉田輝、下堂園恵、市来絹子、原口有紀、弓場裕之		

講 座 名	高校の化学の教科書に見る“工業的製法”の解説		
開 催 場 所	学内		
開 催 期 間	2003.08.04	時 間 数	5時間
受 講 対 象 者	高等学校・中学校の化学（理科）の教諭	募 集 人 数	40人
講座の主旨・目的	高校の化学の教科書には、そこで取り扱う化合物あるいは物質の工業的製法が記載されている。鉄鉱石から高炉を利用した銑鉄の製造法あるいはガソリンの製造法が記載されているが、その規模は到底研究室における化学実験からは想像ができないほど大きい。また、現在の製造プロセスは、省エネルギーを最大の目標に行われているため、熱の有効利用には綿密な配慮がされている。大学の理学部、教育学部等を卒業した高校の化学の教諭（あるいは中学の理科の教諭）を対象にして、有機化学物質、無機化学物質、触媒反応、反応装置、石油精製の5つに分けて、それぞれの代表的製法の概要を例示しながら、平易に解説することを目的として、本講座を開設する。この講座を通じて、もつとも現代的な化学工業の姿を理解し、これを高校等の授業に反映できるように配慮してテキスト等を準備する。		
主 催	鹿兒島大学工学部		
自治体との連携	鹿兒島県教育委員会、鹿兒島県理科教育協議会		
担 当 者	染川賢一、平田好洋、高橋武重、甲斐敬美、筒井俊雄		

講座名	学校教育における e-ラーニング活用実習		
開催場所	学内		
開催期間	2003.0807-08.08	時間数	10時間
受講対象者	小中高教員	募集人数	35人
講座の主旨・目的	現在、大学を中心に「e-ラーニング」活用による教育の高度化・改善が急速に広がっており、その有効性が次第に認められつつある。県内の学校教員を対象に「e-ラーニング」の現状について総括的な講義を行うと同時に実践例についても現場の教員から紹介する。また、鹿児島大学学術情報基盤センターで開発した「e-ラーニング」による活用実習も実施する。		
主催	鹿児島大学		
自治体との連携			
担当者	鍵山茂徳		

講座名	ハンセン病問題を学ぶ -社会的差別・偏見の無い地域社会を目指して-		
開催場所	学内		
開催期間	2003.08.21-08.22	時間数	10時間
受講対象者	市民一般	募集人数	65人
講座の主旨・目的	<p>ハンセン病問題は、政府声明、国会決議、各地方自治体の施策にもあるとおり、国民的課題として取り組まれることが望ましい。</p> <p>鹿児島大学は、地域に根ざす基幹大学として、専門的立場からハンセン病の理解と社会的差別・偏見の解消を目的とし、学際的な研究教育環境における成果をふまえて、広く市民に学習の機会を提供していくことが求められている。また、鹿児島大学と鹿児島には、全国的にみても高い水準で当該問題の専門的知見を有する人材が多く見いだされる。</p> <p>本講座は、ハンセン病問題の真の全面的解決に向けて、ハンセン病問題の理解と社会的差別・偏見の解消を目的とし、地域各界の協力を得て多面的で専門的な知見をわかりやすく学ぶ機会を広く地域社会と市民に提供するものである。</p>		
主催	鹿児島大学		
自治体との連携			
担当者	梅野正信、後藤正直、采女博文、向和典、合田マリ子、山下博、野元俊英、川邊哲哉、日野弘毅		

講座名	高齢者の介護		
開催場所	学内		
開催期間	2003.08.23	時間数	5時間
受講対象者	医療従事者・福祉関係者	募集人数	40人
講座の主旨・目的	<p>寝たきり患者の70%は脳血管障害、20%は骨折が原因である。これからの高齢者社会では、この寝たきり老人をいかに防ぐかが重要で、また、この寝たきり老人をいかにして起こし、自立を促していくかが社会福祉上、重要問題である。</p> <p>これらについて、医療従事者・福祉関係者に講義と実技の指導を行う。</p>		
主催	鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻・臨床理学療法学講座		
自治体との連携			
担当者	松永俊二、吉田義弘、吉元洋一、大重匡		

講座名	Active Aging -リハビリテーションからケアまで- (鹿児島市)		
開催場所	医学部鶴陵会館		
開催期間	2003.09.07	時間数	6時間
受講対象者	医師、看護師、保健師、理学・作業療法士、ヘルパー、市民一般	募集人数	100人
講座の主旨・目的	高齢化社会の到来により、脳卒中、老人痴呆、骨関節疾患などの障害を持ちながら、自宅や施設で生活する老人は増加の一途をたどっている。しかし、施設職員や家庭内介護者に対して、このような障害老人の対応についての知識・技術が十分に普及しているとは言い難いのが現状である。今回の公開講座は、老人の看護とリハビリテーションに関する基本的な知識や技術をわかりやすく解説し、実技指導するものであり、これからの知識社会にとっても有益なことと思われる。		
主催	鹿児島大学医学部リハビリテーション医学講座		
自治体との連携			
担当者	田中信行、川平和美、池田聡、堀切豊、武田文夫、浜崎さゆり、木村宏市		

講座名	子ども理解と望ましい関わり方を求めて		
開催場所	川内市中央公民館		
開催期間	2003.10.04-11.15	時間数	14時間
受講対象者	市民一般	募集人数	30人
講座の主旨・目的	子どもの発達や教育を巡っては様々な問題や病理現象が指摘され関係機関による種々の対策も講じられているところではあるが、その多くが治療的・対処療法的である。本講座では正しい子ども理解と望ましい関わり方に基づいた発達援助の必要性その具体的な方法について考える事を通して、保護者や教育関係者に予防的、開発援助的関わり方の理解促進を図る。		
主催	鹿児島大学教育学部 川内市教育委員会後援		
自治体との連携	川内市教育委員会の学校教育課や社会教育課の組織を活用して広報・PR活動を展開する。市の公共施設(公民館)を利用する事で参加の利便を図る。		
担当者	松田君彦、大坪治彦、今林俊一、仮屋園昭彦、有倉巳幸、川畑秀明		

講座名	生涯スポーツ講座(スコティッシュ・カントリーダンス)		
開催場所	学内		
開催期間	2003.10.11、2003.11.01	時間数	10時間
受講対象者	市民一般	募集人数	24人
講座の主旨・目的	健康で潤いのある生活を支援する一手段として、趣味を媒体にして健康づくり・生きがいつくり・仲間づくりを目的に開設する。本講座は、すべての年齢層に活用できる身体活動の種目としてスコティッシュ・カントリー・ダンスを取り上げ、楽しく体を動かしながら基本的なダンスの技法を身につけ、生涯学習として継続的なグループ活動への導入を図る。		
主催	鹿児島大学医学部保健学科作業療法学講座		
自治体との連携			
担当者	安楽満男、上原充世		

講座名	Active Aging -リハビリテーションからケアまで- (宮崎市)		
開催場所	宮崎県看護等研修センター		
開催期間	2003.10.15	時間数	6時間
受講対象者	医師、看護師、保健師、理学・作業療法士、ヘルパー、市民一般	募集人数	100人
講座の主旨・目的	高齢化社会の到来により、脳卒中、老人痴呆、骨関節疾患などの障害を持ちながら、自宅や施設で生活する老人は増加の一途をたどっている。しかし、施設職員や家庭内介護者に対して、このような障害老人の対応についての知識・技術が十分に普及しているとは言い難いのが現状である。今回の公開講座は、老人の看護とリハビリテーションに関する基本的な知識や技術をわかりやすく解説し、実技指導するものであり、これからの知識社会にとっても有益なことと思われる。		
主催	鹿児島大学医学部リハビリテーション医学講座		
自治体との連携			
担当者	田中信行、川平和美、緒方敦子、下堂園恵、神田春江、佐々木美和、長谷場純仁		

講座名	日本の方言、奄美・沖縄の方言		
開催場所	名瀬市役所会議室		
開催期間	2003.10.20-10.24	時間数	15時間
受講対象者	市民一般	募集人数	25人
講座の主旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、伝統的な方言がどんどん衰退し、消滅寸前の状態にあります。しかし、方言は私たちの日常生活を支え、地域の文化を支える、貴重な文化財です。このような方言の価値を、今、私たちは改めて見直さなければなりません。 ・とくに、奄美・沖縄の方言は、日本語の古い姿を知る上で、諸日本語方言の中でも重要な位置を占めています。講義では、奄美・沖縄の方言について、日本の他の方言との関連の中で見ていきます。 		
主催	鹿児島大学大学院人文社会科学部研究科		
自治体との連携			
担当者	木部暢子		

講座名	Active Aging -リハビリテーションからケアまで- (名瀬市)		
開催場所	名瀬市金久地区分館		
開催期間	2003.11.30	時間数	6時間
受講対象者	医師、看護師、保健師、理学・作業療法士、ヘルパー、市民一般	募集人数	80人
講座の主旨・目的	高齢化社会の到来により、脳卒中、老人痴呆、骨関節疾患などの障害を持ちながら、自宅や施設で生活する老人は増加の一途をたどっている。しかし、施設職員や家庭内介護者に対して、このような障害老人の対応についての知識・技術が十分に普及しているとは言い難いのが現状である。今回の公開講座は、老人の看護とリハビリテーションに関する基本的な知識や技術をわかりやすく解説し、実技指導するものであり、これからの知識社会にとっても有益なことと思われる。		
主催	鹿児島大学医学部リハビリテーション医学講座		
自治体との連携			
担当者	田中信行、川平和美、衛藤誠二、吉田輝、芦戸とし子、谷久美子、山之内麻夫		

講座名	携帯電話にみる電子立国日本		
開催場所	名瀬市役所会議室		
開催期間	2003.12.01-12.05	時間数	15時間
受講対象者	市民一般	募集人数	25人
講座の主旨・目的	<p>日本におけるIT化は、携帯電話の普及により完成されようとしている。これは世界的にみて特殊な例であり、われわれはパソコン中心のIT化から携帯電話中心のIT化について考察しなければならない。</p> <p>とくに、離島地域においては通信販売から電子商取引へと消費者の購買が移動している。正しい電子商取引の利用方法や離島におけるIT化の将来について講義をおこなう。</p>		
主催	鹿児島大学大学院人文社会科学研究科		
自治体との連携			
担当者	萩野 誠		

講座名	都市研究から見た唐代小説		
開催場所	名瀬市役所会議室		
開催期間	2003.12.01-12.05	時間数	15時間
受講対象者	市民一般	募集人数	25名
講座の主旨・目的	<p>日本文学に深い影響を与え、日本の近代作家による改作によって現代人にも親しまれている中国の唐代小説を、中国都市研究の視点から読み解いて行く。</p> <p>『杜子春』『李娃伝』など、長安の都を舞台とする小説を読みながら、中国社会における杜子のあり方を論ずる。</p>		
主催	鹿児島大学大学院人文社会科学研究科		
自治体との連携			
担当者	高津 孝		

講座名	歯性感染症（う蝕と歯周疾患を含む）の最新治療法		
開催場所	鹿屋市民会館		
開催期間	2004.02.15	時間数	4時間
受講対象者	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、 歯科医療関係者	募集人数	30人
講座の主旨・目的	<p>歯科の2大疾患であるう蝕と歯周疾患も口腔内細菌による感染症と捉えることが出来る。更に、う蝕や歯周疾患から周囲の顎骨や軟組織に感染が波及すると歯性炎症（顎炎や蜂窩織炎など）を生じる。本講座は、う蝕、歯髄炎、根尖性歯周炎、歯周疾患、歯性尖症などの歯性感染症の診断と治療における最新の知見を提示し、日常の歯性臨床に役立ててもらうことを目的としている。</p>		
主催	鹿児島大学歯学部(鹿児島県歯科医師会)		
自治体との連携			
担当者	鳥居光男、和泉雄一、杉原一正、西川殷維		

講座名	異文化理解セミナー		
開催場所	総合教育研究棟		
開催期間	2004.02.17-02.20	時間数	12時間
受講対象者	一般市民	募集人数	50人
講座の主旨・目的	国際化の時代の中で、日本に来日する留学生や外国人は日本社会をどのように受けとめているのだろうか。彼らの生き方や悩み、また日本語や日本文化の学習方法などを知ることは、留学生や外国人と接し、良好な人間関係を築いていく上で必要不可欠なことでもある。鹿児島大学の留学生センターは様々な手法を駆使し、異文化理解の道筋を示しつつ、市民とともにこれからの国際化のあり方を模索していきたいと考える。		
主催	鹿児島大学留学生センター		
自治体との連携	鹿児島大学留学センターにて実施案を策定した上で、鹿児島県国際交流課、鹿児島県国際交流協会などにPRを依頼し、広く受講生を募る予定である。また市役所、各新聞社、放送局などにも広報活動を依頼する予定。		
担当者	小林基起、大嶋真紀、畝田谷桂子、和田礼子、土田充義		

講座名	大学博物館への誘い		
開催場所	学内		
開催期間	2003.06.21	時間数	5時間
受講対象者	小中高教員	募集人数	20人
講座の主旨・目的	大学博物館で取り扱う学術標本の処理法や保管の方法。貴重な標本・資料の紹介を行う		
主催	鹿児島大学		
自治体との連携	地元の新聞、テレビの告知欄コーナーを利用して本科講座の広報を行う。		
担当者	馬場英隆、池田豪憲、丸野勝利		

講座名	自然体験ツアー		
開催場所	鹿児島湾北部一帯		
開催期間	2003.06.21	時間数	5.75時間
受講対象者	市民一般(小中学生とその父兄)	募集人数	45人
講座の主旨・目的	鹿児島の自然の偉大さ、巧みな仕組み、自然災害の恐ろしさなどを、講師による案内と実際の体験を通じて学ぶ		
主催	鹿児島大学		
自治体との連携	地元の新聞、テレビの告知欄コーナーを利用して本科講座の広報を行う。		
担当者	大木公彦、穴澤活郎、井倉洋二		

講座名	「体験乗船学習会～鹿児島湾の自然環境を体験乗船で実感しよう～」		
開催場所	鹿児島大学水産学部附属練習船南星丸		
開催期間	2003.08.08	時間数	5時間
受講対象者	市民一般(小学生・中学生)	募集人数	26人
講座の主旨・目的	<p>鹿児島市民の愛する桜島が浮かぶ鹿児島湾(錦江湾)は豊かな海洋資源に恵まれ、日本に存在する他の湾には見られない特徴を多く有している。</p> <p>本講座では、小・中学生を附属練習船南星丸に乗船させ、水中観察や各種海洋環境観測、資源生物調査実習、船内の各種機器や装置の操作等の体験を通じて、身近にある魅力あふれる鹿児島湾の実態にふれさせるとともに、海洋や水産学への関心を芽生えさせることを目的とする。</p>		
主催	鹿児島大学水産学部附属練習船南星丸		
自治体との連携			
担当者	松野保久、東 政能		

講座名	森林の環境サイエンス -こども森林教室-		
開催場所	鹿児島大学農学部附属演習林		
開催期間	2003.10.07, 10.08, 10.15, 10.21, 10.22, 10.24	時間数	6日
受講対象者	垂水市立垂水小学校5年生(3クラス)	募集人数	97名
講座の主旨・目的	<p>小学生が、森林での体験学習を通して、森のしくみ、水の循環、自然界のつながりなどについて自ら発見し、理解を深め、自然科学に対する知的探求心を向上させる。</p>		
主催	鹿児島大学農学部附属演習林		
自治体との連携	<p>地元小学校と連携し、5年生の総合学習「森林自然調査隊」の活動として、演習林にて体験学習をおこなった。「川の源流探検」「森の探検隊」の2つのテーマで2回実施した。</p>		
担当者	井倉洋二		